

【学生レポート】

リーダーシップ・キャラバン2021開催しました！

リーダーシップ・キャラバンとは、各大学のリーダーシップ科目受講者が大学混合チームを作り、提示される課題を解決するPBL（問題解決型学習）型のプログラムです。（リーダーシップ・キャラバン2020についての学生レポートは[こちら](#)）普段関わる機会のない他大学の学生や社会人との関わりの中で、多様なリーダーシップの発揮・学びの創出を目指し、毎年3日間という限られた日数で開催されます。

今年度のリーダーシップ・キャラバンには、全国の21世紀型リーダーシップ教育導入大学にてリーダーシップ開発科目を受講した学生と複数企業から社会人が参加、共立女子大学からは13名の学生が本プログラムに関わりました。

DAY 1 タイムライン	DAY 2 タイムライン	DAY 3 タイムライン
概要説明と開会挨拶	中間発表	チェックイン
チームビルディングワーク	プロジェクトワーク	個人振り返り
プロジェクト課題発表	予選	所属組織別振り返り
プロジェクトワーク	本選	ラップアップスピーチ
チーム状態振り返り	チーム振り返り	閉会挨拶
懇親会	懇親会	写真撮影

3日間のプロジェクトの経験とその振り返りを通じて、参加者は自分の価値観や、強みを言語化していきます。また、3日間をともにしたチームメンバーからのフィードバックによって、自分の強みをより強化、強みをより活かすための、成長ポイントを把握、強化していくための行動を考えるきっかけになります。これらの過程を通して得た経験や気付き・学びは、参加者がさらに自分らしいリーダーシップを磨き、自学に戻りリーダーシップを発揮するモチベーションにも繋がったようです。

🌸 参加者インタビュー 🌸

ビジネス学部1年生 E.Y.さん <<受講生として参加>>



正直3日間大変でしたがなにより楽しい気持ちが強くなり、キャラバンを通して**自分の成長**に繋がったと実感しています。キャラバンに参加しようと思った理由は2つあります。1つ目は夏休みで時間に余裕があり何かに挑戦したいと思ったからです。2つ目はリーダーシップの授業に力をいれている他大学の人が多く参加しているため、キャラバンならではの刺激や学びを得ることができると思ったからです。キャラバンでは振り返りの時間が多かったため、自分を客観視することができました。自分が無意識に行っていた行動が周囲に良い影響を与えているなど、今まで知らなかった**“強み”**に気づきました。

ビジネス学部 2 年生 S.I.さん 《受講生として参加》



もともと授業内での PBL の経験から企画考案をすることが好きだったので、さらに経験を積みたいと思いキャラバンに参加しました。3 日間では他大学の多様な大学生の考えを聞くことで、自分の**知見**を広げることができました。中でも一番の収穫は、リーダーシップ行動での自分の強みを発見したことです。「頑固である」という私の個性は、自分の意見を持ち他の人の意見や批判に流されない姿勢を保つことができます。それはチームのストッパーの役割を担うことができるとわかりました。このような気づきから、自分の強みを**一番発揮できる役割がある**ということに自信を持てるようになりました。

国際学部 4 年生 S.Y.さん 《サポーターとして参加》



今回学生サポーター(受講生の学びを引き出す役割)としてリーダーシップ・キャラバンに参加しました。俯瞰して参加者の気づきを引き出すサポーターを目指し、特に受講生のグループワークを**支援**しました。サポーターとして3日間過ごし、間近で受講生の成長を実感しました。例えば、サポーターからのフィードバックをもらった受講生は、その直後からフィードバックを活かした活動や行動をしていました。そして1人1つの行動の変化が、チームの状態に影響を及ぼし、半日でチームの議論やアウトプットの質に劇的な変化が見られました。私は、共立女子大学のリーダーシップ開発の授業にも、受講生が成長する大きな**可能性**があることを改めて実感しました。

学生レポーター担当 LA (Learning Assistant) :

ビジネス学部 2 年 R.T.・Y.K.・A.M.・M.Y.

国際学部 4 年 S.Y.